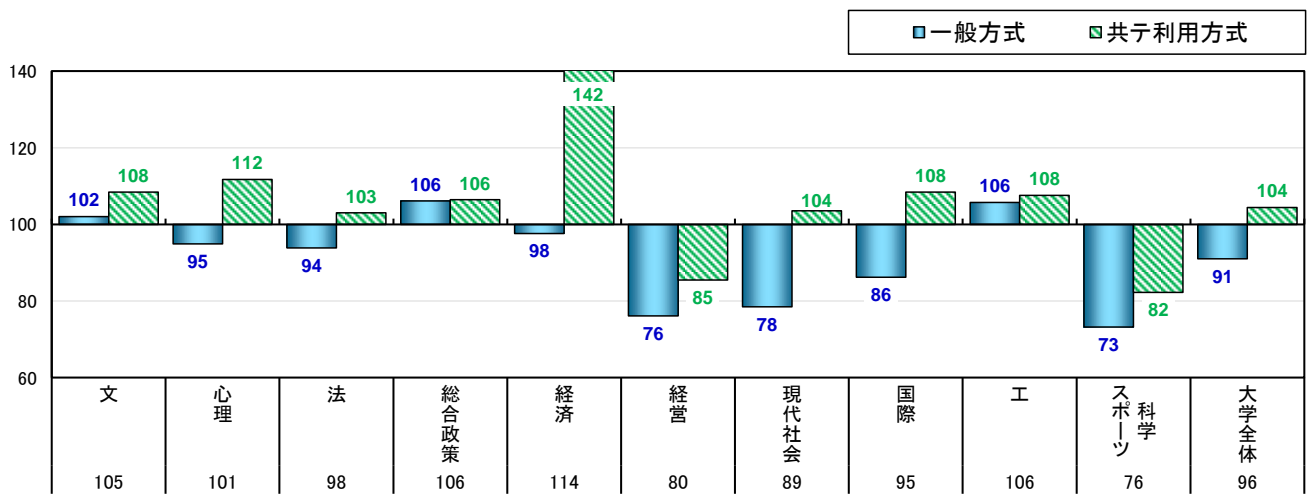


中京大：大学全体ではやや減少で2年連続減少、学部別では増減が半数ずつ 一般：-1,700人 共テ：+533人



<p>主な入試変更点</p>	<p>入試科目：経済<共テ・前期2科目型><共テ・後期2科目型> …外+(国 or 歴公 or 数 or 理) ※選択は高得点1科目採用→外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2) ※選択は高得点1科目採用 <共テ・前期3科目型><共テ・後期3科目型> …外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→2 ※選択は高得点2科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 →外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2)→2 ※選択は高得点2科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 <共テ・前期4科目型><共テ・後期4科目型> …外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→3 ※選択は高得点3科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 →外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2)→3 ※選択は高得点3科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 <共テ・前期5科目型><共テ・後期5科目型> …外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→4 ※選択は高得点4科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 →外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2)→4 ※選択は高得点4科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 国際<共テ・前期2科目型><共テ・後期2科目型> …外+(国 or 歴公 or 数) ※選択は高得点1科目採用 →外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2) ※選択は高得点1科目採用 <共テ・前期3科目型><共テ・後期3科目型> …外+(国 or 歴公 or 数)→2 ※選択は高得点2科目採用 ※歴公のみ2科目選択可 →外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基2)→2 ※選択は高得点2科目採用 ※歴公のみ2科目選択可</p>
----------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,167人(96)のやや減少で、2年連続減少。学部別では、10学部中増減が5学部ずつだった。方式別では、一般方式は1,700人(91)の減少で、2年連続減少。2月入試の<前期・A方式>(91)は減少、<前期・M方式>(97)はやや減少だが、3月入試の<後期・F方式>(80)の大幅減少が目立った。共通テスト利用方式は533人(104)のやや増加。すべての共通テスト利用方式が共通テスト受験後に出願可能だが、特に3月入試の<共テ・後期>(130)の大幅増加が目立った。

- <一般方式>
- 文(102)は、前年度減少の反動は小さく、微増。学科別では、(日本文)(126)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。他の2学科はいずれも減少で、(言語表現)(86)は前年度増加の反動で減少、(歴史文化)(97)は前年度の大幅減少に引き続き2年連続減少。
 - 心理(95)は、前年度の大幅減少に引き続き2年連続減少。方式別では、<前期・A方式>(92)は2年連続減少。一方で、<後期・F方式>(119)は大幅増加。
 - 法(94)は、やや減少で5年連続減少。方式別では、<前期・A方式>(85)は大幅減少。一方で、<前期・M方式>(111)、<後期・F方式>(113)は増加。
 - 総合政策(106)は、2年連続大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。方式別では<前期・M方式>(117)は2年連続大幅減少の反動、<前期・A方式>(116)は3年連続減少の反動でいずれも大幅増加。一方で、<後期・F方式>(65)は大幅減少。
 - 経済(98)は、前年度の大幅減少に引き続き2年連続減少。方式別では、<前期・M方式>(131)は大幅増加。一方で、<後期・F方式>(60)は大幅減少。
 - 経営(76)は、2年連続大幅減少。志願者数は1,500人を下回った。方式別では、3方式全てで減少率20%以上の大幅減少。
 - 現代社会(78)は、2年連続大幅減少。専攻別では、前年度に引き続き全専攻で減少。
 - 国際(86)は、改組3年目だが、2年連続減少。改組前の旧(国際英語)と旧(国際教養)の合計からの比較では、5年連続減少。専攻別では、前年度5専攻全てで大幅減少だったが、(言語文化/複言語・複文化学)(63)、(国際/国際政治学)(75)は引き続き大幅減少、(言語文化/英米学)(88)は減少。一方で、(国際/国際人間学)(126)は大幅増加、(国際/国際経済学)(107)はやや増加。
 - 工(106)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。学科別では、前年度4学科全てで大幅減少だったが、(機械システム工)(126)、(メディア工)(126)は反動でいずれも大幅増加、(情報工)(104)はやや増加。一方で、(電気電子工)(80)は2年連続大幅減少で、4学科中唯一の減少した学科となった。
 - スポーツ科学(73)は、前年度学科新設で大幅増加したが、大幅減少。学科別では、大幅増加の(スポーツ健康科学)(126)を除

いた4学科はいずれも大幅減少。特に前年度新設の(スポーツマネジメント)(44)、(トレーナー)(55)がいずれも半減前後だったことが目立った。

＜共通テスト利用方式＞

- 文(108)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(日本文)(141)は大幅増加、(歴史文化)(105)はやや増加。一方で、(言語表現)(84)は大幅減少。いずれの学科も前年度と逆の増減。方式別では、〈共テ・後期〉(290)のほぼ3倍増が目立った。
- 心理(112)は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、〈共テ・前期5科目型〉(90)を除き増加、特に〈共テ・後期〉(344)のほぼ3.5倍増が目立った。
- 法(103)は、やや増加。方式別では、〈共テ・前期3科目型〉(123)、〈共テ・後期〉(138)はいずれも大幅増加。一方で、〈共テ・前期5科目型〉(78)は大幅減少で2年連続減少、〈前期・共テプラス方式〉(95)はやや減少で3年連続減少。
- 総合政策(106)は、2年連続減少の反動は小さく、やや増加。方式別では、〈前期・共テプラス方式〉(116)、〈共テ・後期〉(139)はいずれも大幅増加、〈共テ・前期3科目型〉(110)は増加。一方で、〈共テ・前期5科目型〉(87)は前年度の大幅減少に引き続き減少。
- 経済(142)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。方式別では、全方式で大幅増加。
- 経営(85)は、大幅減少。方式別では、〈共テ・前期5科目型〉(56)の大幅減少が目立った。
- 現代社会(104)は、前年度減少率40%以上の大幅減少の反動は小さく、やや増加。専攻別では、前年度4専攻全てで大幅減少だったが、(現代社会/社会福祉学)(129)は大幅増加、(現代社会/国際文化)(110)は増加、(現代社会/社会学)(106)はやや増加。一方で、(現代社会/コミュニティ学)(82)は大幅減少で、3年連続減少。
- 国際(108)は、改組3年目だが、前年度減少の反動で増加。専攻別では、5専攻中3専攻で増加。特に(国際/国際人間学)(195)のほぼ倍増、(国際/国際経済学)(132)の大幅増加が目立った。一方で、減少の2専攻は、(国際/国際政治学)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(言語文化/複言語・複文化学)(76)は2年連続大幅減少。
- 工(108)は、2年連続減少の反動で増加。学科別では、前年度4学科全てで減少だったが、(機械システム工)(125)は大幅増加、(メディア工)(113)は増加、(情報工)(107)はやや増加。一方で、(電気電子工)(90)は前年度の大幅減少に引き続き2年連続減少で、4学科中唯一の減少。
- スポーツ科学(82)は、前年度学科新設で大幅増加したが、大幅減少。学科別では、(スポーツ健康科学)(177)は前年度半減の反動で激増、(競技スポーツ科学)(102)は微増。一方で、減少の3学科は(スポーツマネジメント)(48)は半減以下、(トレーナー)(57)、(スポーツ教育)(79)はいずれも大幅減少。